

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 3 月 7 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表は特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

先週・今週のお知らせはありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 徳山下松港を特定貨物輸入拠点形成港湾に指定
2. 五洋建設、繊維補強カルシア改質土を開発
3. 「第 4 回港湾における中長期政策検討のための懇談会」開催

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 徳山下松港を特定貨物輸入拠点形成港湾に指定

石井国土交通大臣は 2 月 23 日、徳山下松港を「特定貨物輸入拠点形成港湾（石炭）」に指定した。国交省に村岡山口県知事を招き、指定書を手交した。徳山下松港は昨年 12 月、全国で始めてバルクふ頭を運営する港湾運営会社「やまぐち港湾運営会社」が県から指定されるなど、石炭輸入港としての機能や効率的な運営体制が整ったことから、今回港湾法に基づき大臣指定が行われた。

同指定により荷役の効率化に繋がる機械の固定資産税等の税制優遇を受けることが出来る。

-----

2. 五洋建設、繊維補強カルシア改質土を開発

五洋建設は従来のカルシア改質土に比べて靱性を高めた繊維補強カルシア改質土を開発、先ごろ一般財団法人沿岸技術研究センターが実施する港湾関連民間技術の確認審査・評価事業において、評価証を取得した、と発表した。

カルシア改質土は、軟弱な浚渫土とカルシア改質材（転炉系製鋼

スラグを成分管理・粒度調整した材料)を混合した材料で、強度発現、濁り発生抑制、アルカリ抑制等の特徴がある。航路や泊地の浚渫工事で発生する浚渫土と鉄鋼の生産過程において副産物として発生する転炉系製鋼スラグを有効活用する技術として、埋立柱や浅場・干潟の基盤材、藻場造成材、深掘跡の埋戻し材等に幅広く使用されている。

これに対し繊維補強カルシア改質土は、カルシア改質土にポリエステルやポリプロピレン製の短繊維をカルシア改質土の体積の0・1～1%添加混合した材料で、従来のカルシア改質土は異なる場所への適用が可能になる。

適用が考えられる工種として、①変形への追従が求められる底面遮水材、②一定の強度と遮水性が必要な遮水シートの先端部、③地盤改良を行わない潜堤のクラック発生を抑制した潜堤材、④吸出し防止シートでは破損の危険性がある場所での吸出し防止材等、として利用が期待される、としている。

.....

### 3. 「第4回港湾における中長期政策検討のための懇談会」開催

国土交通省港湾局は2月20日、「港湾の中長期政策『PORT2030』」のとりまとめに向け、「第4回港湾における中長期政策検討のための懇談会」を開催した。

当日は「将来の国際情勢と港湾政策の課題」と題し、宮家邦彦（一財）キャノングローバル戦略研究所研究主幹が話題提供した。

【港湾空港タイムス 18年03月05日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)



- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。  
開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。